LINE特典

テーマ2の解答と解説

おつかれさまでした。答え合わせは、次の順番で進めると効果的です。

① 1レベルずつ丸をつける

基礎→標準→難関の順に。まちがえた問題は、赤で正しい答えを書き、解説の「なぜ」まで読みます。

②「自信◯なのに×」に印

思いこみのまちがいは、正しい答えを知ると強く記憶に残ります。いちばん大事な復習ポイントです。

③ 1日後にもう一度

まちがえた問題だけを、1日後・1週間後に解き直します。少し忘れかけたころに思い出すのがコツです。

④ リアル調査をやってみる

スーパーで野菜のラベルを3枚見て、促成・抑制・近郊のどれか予想してみよう。教科書の言葉が、目の前の野菜とつながります。

LINE特典 v1.0（2026年11月6日）

基礎

1 **促成栽培**

2 **抑制栽培**
高原でつくる野菜を高原野菜という。

3 **近郊農業**

4 **群馬県**
群馬県は2024年産のキャベツの収穫量も全国1位。

5 **長野県**
川上村などの高原でつくられる、夏の高原野菜の代表。

6 **ア**
イは高原野菜、ウは寒い地方、エは近郊農業の県。

標準

7 **(1) D・E　(2) A・B**
Aは群馬、Bは長野、Cは茨城、Dは高知、Eは宮崎。Cの茨城は近郊農業の県。

8 **イ**
冬は暖かい愛知、夏は涼しい高原の群馬。季節と気候を結びつけて考える。

9 **21%**
27.2÷129.4＝0.210…。

10 **ウ**
大都市の近くは土地の値段が高く、広い畑はつくりにくい。だから小さな面積で高く売れる野菜や花をつくることが多い。

難関

11 **例：冬でも暖かい気候をいかしてビニールハウスで育て、ほかの産地が出荷できず値段が高い時期に売ることができるから。（54字）**
「冬も暖かい（気候）」と「出回る量が少なく値段が高い時期に売れる」の2点がそろっていれば正解。

12 **例：冬から春は愛知県や千葉県など暖かい地域から、夏から秋は群馬県や長野県の涼しい高原から出荷され、産地が季節ごとに入れかわる産地リレーが行われているから。**
暖かい地域の県と涼しい高原の県を1つ以上ずつあげ、季節で入れかわることが書けていれば正解。

まぜ

13 **信濃川**

14 **やませ**

■ つぎに解くなら
テーマ3「果物」では、りんごは北、みかんは南になる理由を、地図と地形で解きます。本編（8テーマ・121問、980円（税込））は成績UPラボのネットショップで。
https://seisekiuprabo.stores.jp/items/6af186020ffc7440e5c9ef28